別記様式第1号(第3条関係)

(表)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申込形態 | 一般　法建　用廃　住替　中堅　特目 | 抽選番号 |
| 長沼町営住宅入居申込書 |
| 申込者 | 現住所 | ふりがな | 　 |
| 本籍地(国籍) | 氏 名 |  |
| 電話番号 |
| 町営住宅に入居する者等 | 氏名 | 続柄 | 生年月日 | 職業 | 勤務先の名称・所在地 | 勤続年数 | 年間収入 |
| 入居者 | 　 | 本人 | ・　・ | 　 | 　 | ・ | 　 |
| 同居する親族 | 　 | 　 | ・　・ | 　 | 　 | ・ | 　 |
| 　 | 　 | ・　・ | 　 | 　 | ・ | 　 |
| 　 | 　 | ・　・ | 　 | 　 | ・ | 　 |
| 　 | 　 | ・　・ | 　 | 　 | ・ | 　 |
| 　 | 　 | ・　・ | 　 | 　 | ・ | 　 |
| 別居扶養親族 | 　 | 　 | ・　・ | 　 | 　 | ・ | 　 |
| 　 | 　 | ・　・ | 　 | 　 | ・ | 　 |
| 　 | 　 | ・　・ | 　 | 　 | ・ | 　 |
| 希望の団地等 | 団地名番号等 | 　 | 特定目的住宅への入居希望 | 住宅の目的等 | 　 |
| 間取り | 　 | 理由 | 　 |
| 適用 |

※　表と裏の太枠の部分に記入してください。

所得計算表

|  |  |
| --- | --- |
| 1　所得　　　　　　　　　　　　　　 ＝＝＝所得合計 | 3　公営住宅法に定める収入月額所得金額：－控除金額： |
| 2　控除額同居・扶養控除額　　　　　円×　人＝老人扶養控除額　　　　　円×　人＝特定扶養親族控除額　　　　　円×　人＝障害者控除額　　　　　円×　人＝特別障害者控除額　　　　　円×　人＝寡婦控除額　　　　　円×　人＝ひとり親控除額　　　　　円×　人＝　　　　　　　　　　　　　　　 控除額合計 | 収入年額： |
| 収入月額： | 　 | 　 |
| 4　　　　　　年度入居収入基準　　　　　　　　　　　　　　　　円5　入居収入基準　　適合・不適合 |
| 審査者　　　　　　　　　　　　　　㊞ |

(裏)

|  |  |
| --- | --- |
| 住宅の困窮状況 | 次に掲げる住宅の困窮状況のうち、該当するものに○をつけてください。1　現在住宅以外の建物又は場所に居住している。2　保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。3　他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便がある。4　住宅がないため、親族と同居することができない。5　住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適切な居住状況にある。6　自己の責めによらない理由で、家主、貸し主などから立ち退きを要求され適当な立ち退き先がない。7　住宅がないため、勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。8　収入に比べて著しく過大な家賃の支払を余儀なくされている。9　その他(具体的にお書きください。) |
| 現在の住宅状況 | 現在居住している住宅の種類1　借家　2　同居　3　貸間　4　民間アパート　5　賃貸マンション　6　寮　7　持家　8　町営住宅(　　　団地)　9　町営以外の公営住宅(　　　営)　10　公団・公社住宅　11　社宅　12　仮住居　13　その他(　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 現在居住している住宅の間取り |
| 現在居住している住宅の家賃等 |
| 現在居住している世帯構成 |
| このとおり入居の申込みをします。この申込みについては、次のことを誓約します。1　この申込書に記載した事項は、すべて事実に相違ありません。2　この申込書に偽りの事項があった場合は、町営住宅入居決定の取消しを受けても異義はありません。3　この申込書に記入した住宅状況について事実調査をする場合は、その調査を妨げ、又は拒絶しません。 4 申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族は、暴力団員による不当　な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員ではありません。年　　月　　日長沼町長　　　　　様申込者氏名　　　　　㊞ |
| 調査・確認事項 |
| 　 | 当選 | 当選・落選 | 受付印 |
| 団地 | 　 |
| 番号 | 　 |